

10月のあゆみ

日	曜	行 事 内 容
1日	(水)	都留診療所開所式 市議会本会議
2日	(木)	市議会本会議 日本福祉大学より文科大視察来校 厚原地区土地改良総合整備事業推進役員会
3日	(金)	市議会本会議(閉会) 硬式テニス教室開級式
5日	(日)	静岡県下田農協朝市運営委員会40名来市 朝市(毎週日曜日朝)
6日	(月)	全国市長会財政分科会・税制調査会合同会議(東京都) 水稲冷害被害農家調査(農業委員ほか)
8日	(水)	国道バイパス法能地区地主組合役員会 市婦人指導者研修会(グリーンロッジ) 水田再編対策秋まき現地調査
10日	(金)	第22回市民運動会(市内8地区)
12日	(日)	第22回市民運動会(開地地区) 柵の薬国体視察
13日	(月)	桂母子グループ運動会 家畜飼養衛生環境特別指導(家畜保険所)
14日	(火)	市議会議員行政視察(富山県)～17日 国保優良被保険者の表彰式(県民会館)

日	曜	行 事 内 容
17日	(金)	老人大学(短歌と郷土史)学習
18日	(土)	一般公開講座(閉講式)
21日	(火)	全国市町村長中央研修会(東京都) 厚生年金(社会保険)出張相談
22日	(水)	関東市議会議長会支部長会議(静岡県) 国道バイパス法能地区地主組合役員会
23日	(木)	千葉県木更津市富来田農協役員60名来市 広城市町村圏指定都市議会総会(東京都)
24日	(金)	南都留市町村教育委員連合会秋季定期総会(文化会館) 農振事前現地調査(促進協議会委員)
25日	(土)	山梨交響楽団演奏会(市民会館) 第10次都留市義務教育振興市民大会(谷一小)
29日	(水)	山梨県市議会議員研修会(都留市) 山梨県定例市議会議員会 山梨県定例市長会議(甲府市)
30日	(木)	厚原地区改良総合整備事業推進役員会 文科大桂川祭(-11/2) 広城常備消防連絡会視察研修会(静岡県)
31日	(金)	水田転作大豆機械刈取調整実演会(法能)



ふるさととは、情緒的なふるさとの意味だけでなく、私たちの生活の場としての地域です。ふるさとづくりは、それぞれの地域がその自然や伝統と、そこから生れた産業や生活のあり方など、地域にある独自のものを大切にしながら、個性あるいきいきとした地域社会づくりの活動といえます。私たち一人ひとりが自分の住む地域を見つめ直し、物心両面から本当に豊かで住みよい地域にするためには、どうすれば良いかをみながら考え、話し合い、実践していくこと、それがふるさとづくりの出発点です。こうした取り組みは、現在市内

ふるさとづくりコーナー

城下町の風情、彷彿として…



各地でさまざまな地域活動として多くの人々たちによって実践されています。例えば、青少年の育成、スポーツや文化活動、レクリエーションや祭り、さらに産業振興の活動など幅広い取り組みが行なわれています。これらの活動は、組や自治会、PTA、育成会、青年団、交通安全協会、婦人会、老人クラブさらにスポーツ・文化などの団体、グループによって自主的に行なわれています。このような様々な地域活動は、どれもがふるさとづくりの基盤となる活動です。この「ふるさとづくり」の輪を広げ、互いの役割を分担しあいながら、地域の特性を生かした活力ある住みよい地域づくりを進めてゆくと、南都留地方に古くから伝承されている手工芸品などを地域別に

展示し、住民に広く紹介することによって、失なわれがちな心のふれあいを取り戻し、郷土の文化遺産を継承するために「ふるさと作品展」が、南都留合同庁舎で開催されています。この作品展は、南都留地区二市二町六カ村が、一カ月ずつ持ち回りで、それぞれの地域の特性を活かした手工芸品などを展示するもので、八月からスタートしています。八月の当番、勝山村では、竹細工、九月の富士吉田市は織物展、十月の河口湖町では観光工芸品、そして十一月の当番都留市では、かつての城下町の風情と秋元時代が発祥といわれる八端織の陳列に的を絞りました。当時の城下町の規模を一目瞭然とさせる甲州谷村町絵図、高貴な人物が乗ったと思われる駕と馬の鞍、大久保加賀守拝領の雛基盤や湯桶そして、大名行列のパネル写真などから往時の城下町として栄えた都留市の有様が想像されます。

また、手機織機は仕掛けたまま出品され、織り方が理解できるようになっています。このほか、甲斐絹の見本や、現在生産されている夜具地、ドンスなども陳列されて、織物のまち・都留市を紹介するうえで、大いに効果を発揮しています。これらの展示物は、十一月末日まで、南都留合同庁舎一階のエントランス・ホールに陳列されており、一度ご覧になってくださるようお願いいたします。